

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	頭頸部 VMAT において線量計算グリッドサイズが線量分布に及ぼす影響		
② 実施予定期間	実施許可日から 2025年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院の放射線治療科で放射線治療を受けられた上咽頭癌・中咽頭癌・下咽頭癌の患者さん		
④ 対象期間	2017年1月1日から2024年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	放射線治療科		
⑦ 研究責任者	氏名	中村 翼	所属 放射線部
⑧ 使用する情報等	放射線治療を実施した部位 放射線治療計画で使用したCT画像 治療計画情報 DVH 線量計算時間 Plan Quality Index		
⑨ 研究の概要	放射線治療において強度変調放射線治療(IMRT)は腫瘍などのターゲットとリスク臓器が近接した症例に対してターゲットへの線量を担保しながらリスク臓器への線量を低減することができます。IMRTの応用型である強度変調回転照射法(VMAT)は回転原体照射法に強度変調の機能を加えた照射法で、従来のIMRTと比較して治療時間の短縮を図ることができます。VMATでは急峻な線量分布を含むため正確な線量分布の作成が求められますが治療計画装置によって計算される線量分布は様々な要因によって影響を受けてしまいます。その要因の一つに線量計算グリッドサイズが挙げられます。線量計算グリッドサイズとは線量分布を定義しているボクセルのことであり、線量計算グリッドサイズによる線量の不確実性が懸念されます。そのため本研究では、頭頸部 VMAT におけるターゲットの体積と線量計算グリッドサイズの違いにより線量分布におよぼされる影響について検討を行い患者のターゲットの大きさごとに適切な線量計算グリッドサイズを選択し、治療計画作成時間の最適化、線量分布精度の向上を目的としています。		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年10月3日	
⑪ 研究計画書等の関	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報		

覧等	及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線部運営費		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線部 中村 翼		
	電話	0836-22-2659	FAX 0836-22-2961